

### リーダーに必要な目標設定 —リーダーシップ研修を開催—

1月27日、鹿島興産(株) 代表取締役の山本広高氏を講師に「リーダーが知っておくべき目標設定のやり方」と題したリーダーシップ研修を開催しました。



講演する山本氏

次世代のリーダーに求められる8つの能力のうちの一つとして目標設定の重要性を取り上げ、方向性を明確にすること、優先順位をつけること、成果・成長を可視化することの3つの役割を果たすことが説明されました。また、SMARTの法則についての概要説明に加え、WHY(意義)+SMART+HOW(道筋)のフレームワークを示すことによってメンバーの解釈や行動を一致させ、マネジメントを变えることができるかと解説しました。また、目標を生きたものにするための3つの原則や、目標を共創する姿勢について述べ、明日から実践できるアクションプランを提示して締めくくりました。

参加者は10名

### 青年部

#### 今年も絆を大切に

—臨時総会・新春懇親会を開催—

1月23日、令和7年度1月臨時総会及び1月例会「令和8年新春懇親会」を執り行いました。臨時総会では次年度の会長所信、正副委員長、出向者が承認され、来年度に向けいよいよ動き始めました。

続く新春懇親会には、ご来賓やOB・OG、現役メンバーと多数の皆様にご出席いただきました。心より御礼申し上げます。バンド演奏や前会頭へのメッセージ、次年度役員紹介を盛り込み、これを青年部という活気をお披露目できました。テーマである「絆」を、ご参加いただいた皆様にも感じていただけたことと思います。

この1年共に走り抜けてくれた委員会メンバー、支えてくださった皆様には感謝しかありません。残り数ヶ月、さらに新たな絆を深めていきましょう。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました！

(総務広報委員長 窪田 健二  
地域渉外委員長 興梠 正樹)

令和8年度役員(敬称略、順不同)

理事	山平 純
理事	森 翔太
理事	宮本 隆太
理事	松崎 壮
理事	藤林 健汰
理事	平田 光貴
理事	新田 大
理事	恒吉 宏瑛
理事	辻 惇之
理事	田中 健司
理事	高松 志行
理事	佐伯 隆典
理事	小林 賢人
理事	片田 寛之
理事	岩脇 遼
専務理事	伊東 優希
副会長	佐藤 正巳
副会長	原田 哲
副会長	中野 二郎
副会長	中川 誠貴
副会長	竹内 一真
会長	山本 裕一
監事	山本 涉
監事	杉浦 元記

#### 5年後のYEGを考える

—中期ビジョン引き継ぎ式を開催—

2月4日、令和7年度2月例会「加古川YEG中期ビジョン引き継ぎ式」を「未来へ繋ぐ」を加古川プラザホテル相生の間に開催しました。

ビジョン研究委員会として一年をかけて勉強し、メンバーの意見を聞きながら、2026年〜2030年の中期ビジョンを作らせていただきました。その中期ビジョンを次世代に引き継ぐために本例会を開催しました。



より結束を深めた参加メンバー

松下会長と山本次年度会長のディスカッションを通じて、これまでの挑戦とこれからの方向性を確認することができました。メンバー全員が理解を深めて同じ方向を向き、さらに強固な組織になれたと思います。

素晴らしい中期ビジョンが出来たのも、全メンバーのご協力があったからだと思えます。本当にありがとうございました。 (ビジョン研究委員長 富士原 満)

### 女性会

#### 笑顔あふれる1年に

—新春懇親会を開催—

1月27日、令和8年加古川商工会議所女性会主催の新春懇親会が開催されました。女性会会員をはじめ、多くの来賓の皆様にご参加いただき、終始和やかで温かな雰囲気にも包まれた懇親会となりました。



来賓の方々と

今期は新たに13名の仲間をお迎えし、新しい出会いと今後の活動への期待を感じる機会となりました。

オープニングは、女性会メンバーである包 成鳳氏によるペリィダンス。華やかな舞いが会場を彩り、会の幕開けにふさわしいひとときとなりました。

続くアトラクションでは、長谷川 慶悟氏によるコントラバスの生演奏が披露され、心に響く音色が会場を優しく包み込み、参加者同士の交流をより深めてくれました。

笑顔あふれる中、女性会のつながりを改めて感じる、大変有意義な新春懇親会となりました。(理事 嶋田 純子)

### 環境保全研究会

#### 企業のSDGsを視る

—視察研修会を開催—

1月16日、エコファクトリー部会の視察研修会を開催し、伊東電機(株)を訪問しました。

初めに、会社の概要や事業内容、SDGsの取り組みについて説明を受け、動画を視聴しました。持続可能な社会の実現に向けて、省エネで安全な搬送システムを開発提供し、自動化・効率化という解決策を提供していると説明がありました。また、その搬送技術を農業分野にも広げ、自動化による環境に優しい植物工場システムの研究開発にも取り組んでいることについて話がありました。

その後、本社工場を順に廻り、各組立エリアや出荷製品が紹介されているショールームを見学しました。同社のコア技術となるMDRとその制御技術、ソフトウェア技術を駆使したMDR式マテハンの最新の実演装置を視察しました。最後に完全人工光型植物工場の栽培棟も見学し、技術力の高さを目の当たりにしました。

参加者は11名

### 異業種交流会

#### 支え合って働くために

—1月度定例会を開催—

1月20日、兵庫大学 生涯福祉学部 社会福祉学科の小倉毅教授を講師に、「発達障害と職場の未来」と題した講演会を開催しました。

発達障害の概要について歴史や法律に基づいて説明し、発達障害のある人との向き合い方について解説しました。



小倉氏による詳細説明

講演の中で小倉氏は「学習障害は読み書き・会話(聞く・話す)・計算などのうち特定のもののについての困難を示す状態であるため、一見他の人と違いがあるように見える」と話し、「その人なりのルールや決まりのようなものを持っていることがあり、それが何かを理解すれば付き合い方が見えてくる。専門家にアドバイスを求めることも有効である」と解説しました。

定例会に引き続き懇親会でもメンバーから質問が出て、小倉氏は丁寧に答えていました。

参加者は18名

### 加古川市国道2号等整備促進協議会

#### 「ミニミ」から学ぶ

—視察研修会を開催—

2月6日、まちづくり先進地視察研修会を開催し、大阪府大阪市中央区のなんば駅周辺を訪問しました。

なんば駅周辺における空間再編推進事業について大阪市の担当職員から概要説明を受け、難波エリアが大阪のまちづくりにおいて担っている役割について伺いました。大阪都市軸(南北軸)の拠点の一角であることや、商業・文化・観光機能が集積していることなどが挙げられました。



なんば広場を視察

また、地域発意の人中心の空間づくりで賑わいと憩いの形成を行っており、世界をひきつける観光拠点として上質で居心地の良い空間を創出しているとの紹介がありました。歩行者にとってより安全安心でにぎわいのある空間に再編されていると説明されました。

概要説明の終了後、なんば広場を中心に現地を視察し、現状や課題点を考察しました。

参加者は17名